

参考様式第1及び参考様式第2の別添2

平成29年度 漁業集落復興効果促進事業使途内訳提出調書

(単位：千円)

計画名	事業番号	細要素事業名	事業費					調査費	事業費計 (A)	控除額 (B)	事業費 (控除額の控除後) (C=A-B)	国費率 (8/10) (D)	提出対象交付金額 (C)×D	着手 年月日	完了予定 年月日	備考
			工事費内訳													
			本工事費	附帯工事費	測量設計費	用地費及 補償費	船舶及機械器具費									
和府町復興交付金事業計画	☆ C 5 - 3 - 1	復興地域づくり加速化事業	18,600 <18,600>	<0>	3,500 <3,500>	<0>	<0>	(0) 22,100 <22,100>	(0)	(0) 22,100 <22,100>	(0.8) 0.8 <0.8>	(0) 17,680 <17,680>	H29.10.19	H31.3.31		
	☆ C 5 - 4 - 2	復興地域づくり加速化事業	9,340 <9,340>	<0>	(0) <0>	<0>	<0>	(0) 9,340 <9,340>	(0)	(0) 9,340 <9,340>	(0.8) 0.8 <0.8>	(0) 7,472 <7,472>	H30.1.29	H31.3.31		
合計			(0) 27,940 <27,940>	(0) 0 <0>	(0) 3,500 <3,500>	(0) 0 <0>	(0) 0 <0>	(0) 31,440 <31,440>	(0)	(0) 31,440 <31,440>	(0.8) 0.8 <0.8>	(0) 25,152 <25,152>				

(備考)

1. 本表は、漁業集落復興効果促進事業のうち、標題の年度に実施する細要素事業を記載する。
2. 「事業番号」は、「◆(最も関連する基幹事業の事業番号) - (最も関連する基幹事業ごとの通し番号)」となるよう記載する。(参考) C5: 漁業集落防災機能強化事業
3. 「細要素事業名称」欄には、東日本大震災復興交付金制度要綱別表2-2に掲げられた番号及び事業名を記載し、事業ごとに別添3を添付する
4. 「調査費」は内訳を明らかにしておく(提出は要しない)。
5. 上段( )書きは、前回までの提出済みの額、中段には今回提出する額、下段< >書きは合計額を記載する。